

< 広報の学校 >

SNS リスクセミナー

「炎上対策講座」のご案内

～炎上の未然防止から発生時危機対応まで～

① 会場聴講、または②ライブ配信（アーカイブ視聴付）から選択できます

— 11 月 16 日（火）13:00～17:30 —

広 報 の 学 校
(共同ピーアール総合研究所)

SNS が必要不可欠な情報インフラとして定着し、個人は誰でも情報の発信・受信・拡散の主人公になりうるという「誰でもメディア時代」が到来して久しくなりました。

SNS は上手く使いこなせば高い利便性を享受できる一方、企業にとって SNS 絡みのリスク管理は、炎上、デマ（フェイクニュース）、ネット告発、デジタルタトゥーなど、自身の評判（レピュテーション）を含め株価や業績にも多大な影響を与えかねない最重要課題のひとつとなっていることも事実です。

しかも、SNS リスクは、不適切な情報発信（バイトテロ等）のみならず、広告表現（ジェンダー差別）、誹謗中傷、さらには炎上時の対応ミスによる2次炎上など、その発生要因、テーマ、パターンが次第に複雑・多様化しつつあり、対応を誤った際のダメージも大きいだけにミスが許されない危機管理領域となっています。

本講座は、こうした最新の情勢を踏まえて、危機管理・炎上リスク対応の経験豊富な当総研所属スペシャリスト2人が講師となり、炎上の定義、パターン、炎上に関わる人的特徴、テーマ、背景、発生要因、拡大プロセスといった炎上に纏わる基礎知識と、炎上時の対応ミスによる2次炎上阻止や未然防止、発生時の炎上危機対策のポイントを実践的かつ具体的に解説します。

広報・危機管理担当者の実務教育の一環としてお役立て下さいますよう、ご参加をお待ち申し上げます。

※「ライブ配信」でのご参加を選択された場合、当日のライブ配信に加えて、アーカイブ視聴期間中（1ヶ月）は何度でも繰り返し視聴ができます

— 実 施 概 要 —

- 対 象 者 広報/IR、お客様相談室、総務、危機管理、企業ウェブサイト管理者（責任者・担当者）
- 本講座の特色
 - ①経験が浅い担当者でも分かりやすい実践的な知識・スキルの習得
 - ②具体的かつ豊富なケーススタディを活用
 - ③実務に特化した内容
 - ④すぐに現場で応用可能な実践力が習得可能
- 講 座 概 要 詳細はカリキュラムをご覧ください
- 日 時 2021 年 11 月 16 日（火） 13:00～17:30
- 講 師 篠崎 良一（共同ピーアール総合研究所「広報の学校」校長）
中根 優作（共同ピーアール総合研究所 主任研究員）
- 受 講 料 4万円（消費税込、資料代含む）

■申込方法： ウェブサイト上の特設ページからお手続きください。

⇒ インターネット検索サイトで「共同ピーアール セミナー」と検索し、申込フォームにお進み下さい。その際、①会場聴講、または②ライブ配信（アーカイブ視聴付）のどちらかを選択し明記願います

アドレス：<https://www.kyodo-pr.co.jp/seminar>

※お申込み受付け後に自動返信メールにてお申込確認情報が届きます。

※会場は、「当社セミナールーム」または「浜松町ビジョンセンター」となります。
「浜松町ビジョンセンター」

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-8-14 浜松町 TS ビル

■申込締切 11月11日(木) 18時必着

■支払方法 請求書はPDFでお送りいたします。記載のお支払い期限(当月締め翌月末払い)までにお振込みください。

※請求書の原本をご希望の場合は郵送いたしますので、その旨お知らせください。

《振込先》 みずほ銀行(0001) 八重洲口支店(026) 普通預金 口座番号:267798

口座名義：^{キョウドウ}共同ピーアール株式会社 ^{グチ}セミナール

●参加方法は2つあります

①「会場聴講」の方:講座開始 10 分前にセミナールームで受付をお済ませください。

②「ライブ配信」の方:当日会場に来られずとも、遠隔で講座を聴講できます。

当日ライブを見逃した方は後日、アーカイブ視聴期間(1ヶ月)中であれば視聴可能です。

繰り返し受講されたい方もご活用ください。アーカイブ視聴期間は別途ご連絡いたします。

1つの ID で1ユーザーのみ視聴可能です。(1つの ID で複数の方は受講できません)

●セミナー配布資料(PDF)はダウンロード可能です。(事前にプリントアウトしてご参加ください)

●お申し込みの前に必ずインターネット環境をお確かめください。

セキュリティの設定や、動作環境によってはご視聴いただけない場合があります。

以下のサンプル動画が閲覧できるか、事前にご確認の上、お申し込みください。

●テスト視聴サイト

<https://deliveru.jp/pretest5/>

ID livetest55 PW livetest55

※当日に「閲覧できません」旨ご連絡をいただいても、対応いたしかねますので必ず事前にご確認ください。

●推奨環境について

今回の動画配信は、株式会社ファシオの配信プラットフォーム「Deliveru」を利用しています。

推奨環境・ご質問は下記 URL をご参照ください。

◎推奨環境 <https://deliveru.jp/faq/#Q7> ◎よくあるご質問 <https://deliveru.jp/faq/>

【お問合わせ先】メールでお願いいたします。担当が一両日中にはご返信をいたします。

宛先：seminar@kyodo-pr.co.jp 「広報の学校」事務局

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F

オンライン講座「炎上対策」カリキュラム

11月16日（火） 13:00～17:30

	内 容	講 師
Part 1 13:00～14:00	<u>近年のSNS炎上のトレンド</u> ・ジェンダー、表現のあり方 ・蘇るバイトテロ <u>コロナ禍特有の炎上事例</u> ・コロナによって変わった、企業SNSへの目線 ・従業員へのコロナ対応不足による炎上	中根 優作
14:00～14:10	休 憩	
Part 2 14:10～15:10	<u>コロナデマとその対応</u> ・感染者デマ ・対応事例 <u>陰謀論</u> ・コロナ禍でSNSに吹き荒れた陰謀論 ・陰謀論は日本企業への脅威となりうるか？	
15:10～15:20	休 憩	
Part 3 15:20～16:20	<u>炎上の基礎知識</u> 炎上の定義／背景／炎上の影響力／炎上に関与する人のイメージと実際のギャップ）／炎上のパターン／炎上による企業ダメージ／二次炎上／メディアと炎上の関係 <u>フェイクニュース</u> フェイクニュースの定義／事例／背景／フェイクニュースのパターン／関与者／影響／対策／見破る方法	篠崎 良一
16:20～16:30	休 憩	
Part 4 16:30～17:30	<u>演習（炎上時の広報対応）</u> <u>炎上対応</u> 拡大プロセス／未然防止／初期対応／監視体制／炎上時対策／二次炎上防止／スルーの条件／放置リスク／電凸対応	

【講師プロフィール】

●篠崎 良一（共同ピーアール総合研究所「広報の学校」校長）

広報コンサルタント、危機管理広報コンサルタント、メディアトレーナー

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社（日本実業出版社、ローリングストーンジャパン）を経て、共同ピーアール(株)入社。取締役副社長を経て現職。1993 年 4 月『危機管理広報部門』を創設。2003 年 5 月『広報の学校』を開校。2013 年 1 月『PR総研』を創設。企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。危機管理では欠陥商品、リコール、企業不祥事、訴訟問題、企業機密・個人情報漏洩、内部告発、差別・人権問題等、数多くの危機管理実務、クライシスコミュニケーションのコンサルティングを実施。（クライシス）メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査も担当。

著書に『入門メディアトレーニング』（アノモ出版）、『実践企業広報マニュアル』、『会社を守る！もしものときのメディア対応策』（共にインデックス・コミュニケーションズ）、『広報・PR概説』（共著、同友館）、『広報・PR実践』（共著、同友館）、『パブリックコミュニケーションの世界』（共著、北樹出版）他がある。

●中根 優作（共同ピーアール総合研究所 主任研究員）

テレビ局にて番組ディレクター等を担当した後、テレビCMの制作現場を経て、(財)2005 年日本国際博覧会協会 広報・報道室に勤務。愛・地球博（愛知万博）では広報業務に従事し、全国放送の特番、行幸啓の取材対応などを経験。現在は、危機管理広報コンサルティング、危機管理広報マニュアル作成や、メディアトレーニングのトレーナーなどを務めるほか、SNS炎上対応や大学にて学生向けの炎上防止セミナー等の講師も担当している。2020年からの「コロナ禍」においては、映像制作の経験を活かし、数多くの記者会見のオンライン配信を手掛けている。